

【農林水産物・食品の広報】 日本産水産物及び日本酒のプロモーション(ルクセンブルク)

開催日: 令和6年2月19日
場 所: 在ルクセンブルク大使公邸
主 催: 大使館
協 力: センス・オブ・ジャパン社(日本酒の輸入業者)

在ルクセンブルク大使館

【概要】

- 日本産食品の魅力・安全性のPRが期待される人脈として当国政府関係者・外交団・インフルエンサー等、日本産食品の輸出促進やホタテ等の代替販路開拓に繋がる人脈として当地和洋食レストランや食品業者等を招待し、日本産水産物及び日本酒のペアリングに焦点を当てた試飲・試飲会を実施(37名出席)。
- 日本産水産物としては、マグロ(刺身、寿司、カルパッチョ)、北海道産ホタテ(刺身、寿司、カルパッチョ、味噌漬け焼き)、宮崎県産ブリ(刺身、カルパッチョ)、宮城県産カツオ(タタキ)、福島県産あおさのり(酢の物、味噌汁)を提供。
- 日本酒については、当地日本酒輸入業者(日系企業)のセンス・オブ・ジャパン社の協力を得て、料理に合わせた日本酒を厳選して提供し、参加者に対し日本産水産物等の食品とのペアリングや日本酒の分類等について説明。
- 出席者からは、今回初めて口にした食材もあり貴重な体験となった(冷凍食品配送業者)、発酵技術の違いで日本酒の味わいや香りにこれほどの差が出ることを知って興味深かった(農業省食品等輸入規制担当者)等の反応があった。
- 現地クロニクル紙により、イベントの概要のほか、EUにおいて日本産食品等輸入規制阻止が完全に撤廃された旨や、「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組について報道された(報道ぶり右参照)。

